

産研 同窓会通信

2022年10月



SANKEN CReA

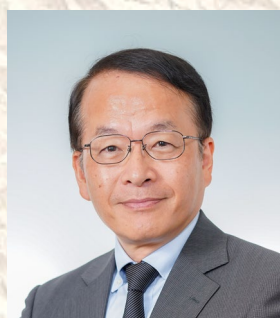
ご報告

- 退職者の紹介 ～産研での思い出～
- 第13回同窓会総会の報告(会長交代について)
- 産研の活動報告
- SANKEN CReA を図書室跡地に開所しました
- 新任教授の紹介

お知らせ

- 第7回産研ホームカミングデイ&第78回学術講演会(11月25日)
- 大阪大学ホームカミングデイ2022@オンライン(11月5日・6日)

産研での思い出～退職者の紹介～(2022年3月31日退職)



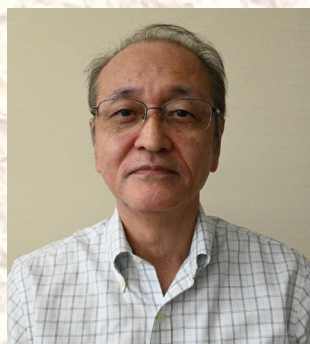
笹井 宏明教授
機能物質化学研究分野

着任したのは1997年の8月16日(土)でした。御挨拶に当時の先生方の部屋を訪問しても、殆どどなたもいらっしゃらず、土曜日は閉める部屋が多いと後で知りました。産研でカバーする研究領域は多岐にわたり、研究上の習慣も大分違います。違いに驚くこともある半面、異分野の方々との交流から生まれる共同研究もあり、私も研究の幅を広げることができました。有機分子の合成以外も手掛けるようになって、着任した当時の研究室の名称を「分子合成化学研究分野」から、改組のタイミングで「機能物質化学研究分野」に変更しました。研究領域が広がると使用する機器も多様化し、総合解析センターや技術室の方々には、大変お世話になりました。また、事務の方々も驚くほど協力的に研究を支えてくださいました。産研の皆様には厚く御礼申し上げます。退職して機能物質化学研究分野を離れましたが、続けているプロジェクトの関係でオフィスを産研の中に置かせていただき、ほぼ毎日通勤しています。産研の方々とさらに研究を進めることができれば幸いです。すぐ近くというより内部から、産研の益々の発展を拝見できることを楽しみにいたしております。



白井 光雲准教授
ナノ機能予測研究分野

私は1986年に権田俊一前所長(当時電子材料部門)に誘われて、産研の一員に加わりました。当時、半導体というとGaAsに代表される化合物半導体、それを作成する分子線エピタキシーという方法がもてはやされておりましたが、私はそれとは違いボロンという変わった半導体の研究に従事することになりました。はじめは全く分からずもがくことばかりでしたが、あるときから急に分かり出し、それからはこの分野をリードしてきたと思っております。産研在職期間の後半は理論分野に移りましたが、分野は違ってもこのときの経験が支えになりました。研究とはどこに、いつ新しい芽が出るか分かりません。何がベストかを考えるより、問題を解決する情熱・能力を養うことが重要と思います。今は縁あってベトナムで日越大学で研究教育活動をさせていただいておりますが、問題を解決する情熱・能力を養うことの重要さは変わりません。最後になりましたが産研在職時には多くの方にお世話になりました。この場を借りて、感謝の言葉を述べさせていただきます。



菅田 義英准教授
量子ビーム科学研究施設

私は当時の放射線応用計測部門の山本幸佳先生の紹介で藤本文範先生の助手として採用され、2年後には放射線実験所の所属となり、以後定年退職まで殆どここでのお世話になりました。産研では放射線実験所のSバンド電子加速器を使った低速陽電子ビームの開発が当面の課題でした。当時の加速器ベースの低速陽電子ビームは磁場輸送方式が中心でしたが、陽電子回折等の散乱実験を当初考えていたため、静電方式で陽電子ビーム開発を試みましたが、種々の回避できない問題点が明らかとなり、結局磁場輸送方式に変えた点が少し心残りではあります。陽電子ビームの開発の後、陽電子の利用分野開拓のために材料分野特に有機材料の構造、機能評価や、最後の数年は放射線管理やレンドライナックの制御を含む管理プログラムの作成など、色々な分野に足を突っ込みやってきました。このような加速器から材料研究に至る多様な分野で研究ができた背景には、産研に於いては研究領域の異なる分野の方々が身近にいたことが大きいと思っています。いま改めてご支援いただいた先生方、職員・学生の皆様に感謝するとともに、今後の産研の益々の発展をお祈りいたします。

産研同窓会総会を開催しました

2022年3月17日(木)、3年ぶりに第13回産研同窓会総会を開催しました。当日は参集とオンラインによるハイブリッド形式での開催となりましたが、広島からもご参加いただくなど、闊達な意見交換の場を持つことができました。本総会では、役員の改選について審議され、会長副会長の交代も含め、下記新役員体制となることが承認されました。また、活動状況、会計について報告が行われ、今後の活動計画が話し合われました。これからも産研の発展に寄与すべく、新体制で同窓会運営を力強く推し進めていきます。

【役員リスト2022年4月1日現在】

会 長	川合 知二	名誉教授(23代所長)
副 会 長	関野 徹	所長(所長任期中)
	小口 多美夫	名誉教授
監 事	磯山 悟朗	名誉教授
	増田 敏裕	元事務部長
運営委員	田川 精一	名誉教授
	西嶋 茂宏	名誉教授
	安蘇 芳雄	名誉教授
	茶谷 直人	名誉教授
	柏原 昭博	電気通信大学教授
	山田 等	元技術室長
	田部 信重	元事務部長
	鷲尾 隆	教授
	誉田 義英	元准教授
	水野 敬仁	総務課長



【2021年度会計報告】

○ 収 入: 250,503円
(内訳)
250,501円(前年度繰越金)
2円(利息収入)
● 支 出: 0円
◇ 次年度繰り越し: 250,503円



川合新会長よりご挨拶



山口前会長の後を継いで産研同窓会のお世話をすることになりました。産研同窓会には思い入れがあります。私が産研所長だったころ、産研に対する印象は人によって異なっており、研究所のアイデンティティがはっきりしなかった面もあったように思います。産業技術でなく、“産業科学”という表現が多様に受け取られていたのでしょうか。しかし、“産業科学研究所”という名称は素晴らしい名称です。産研は単に既存の“技術”を産業化するだけでなく、“科学の基本”から研究し解き明かし新たな発見・発明をし、それを産業へと展開していく、そのような理念を持つべきと考えました。そして、産研に学生としてまたは職員として所属した人たちが、卒業し広く社会に出た後も、産研を応援し見守っていただくという考えで同窓会が発足しました。

産研は新たな教職員人事を広く全国から募集し、新たな考え方や方法論を持った研究者が集まってきています。この産研でさらに新たな絆を作り一層発展してほしいものです。

山口前会長は8年の長きにわたりこの同窓会を盛り立ててこられました。その流れを引き継ぎ、産研にゆかりのある人たちが交流し、また、現役の産研教職員・学生たちを応援していくという産研同窓会の目的に向けて寄与していきたいと思っています。

山口前会長よりご挨拶



私は、2008年から2012年まで2期4年間産研所長を務めさせていただいた後、2013年に定年退職し、同年同窓会長に就任された坂田元所長を補佐する同窓会副会長に就任しました。退職後すぐに同窓会役員になるのはそれまであまり例がなかったのですが、坂田先生が長く続けていただけるものと気楽に考えておりました。ところが、坂田先生が思わぬ腰痛で、わずか1年半で御退任になり、私に会長のお鉢が回ってきてしまいました。準備不足でしたが、快く副会長を引き受けて下さった弘津先生の助けを得てなんとか今春まで勤め上げることができました。

同窓会はそれまで、秋の産研学術講演会の後の懇親会に数名の名誉教授の方がご参加・ご挨拶くださり、さらに届いた近況報告の葉書をご紹介するというのが活動のほぼ全てでした。私は、なんとかもっと同窓会を身近なものにしたいと考え、産研学術講演会の前座に産研ホームカミングデイとして、同窓会員の方の近況報告を兼ねたご講演をいただくこと、産研フェスタに同窓会としてささやかな協賛金とともに、同窓会カフェを出店し、弘津副会長がマスター、ウエイトレスに所長秘書の西田さんをはじめ多数の教授秘書の方の協力を得て、スーパーフードのスピルリナ・パウダー入りシフォンケーキなどを供しましてそれなりに好評をいただきました。新型コロナパンデミックのため、ここ3年ほど産研フェスタが開催できておらず、同窓会カフェも立ち消えになっているのは残念なことです。産研ホームカミングデイと共に、ぜひ川合新会長の元でも復活させていただければと思います。

私の同窓会長在任も足掛け8年にもなり、そろそろ後進の方にお譲りしたいと常々考えていたのですが、私の後、2代続いて産研所長が私より12歳も若返ってしまい、所長退任後もなかなか定年退職してくださらないので、機会を失っておりました。その時、私の前所長の川合先生が代わってやっても良いとおっしゃってくださったのでこれ幸いとお願ひしました。川合先生は、定年後は経産省の産業技術総合開発機構の技術戦略研究センター長に就任され東京でお忙しい生活をお送りになっていらっしゃるの、同窓会長をお願いするのは躊躇っていたのですが、快くお引き受けいただきほっとしております。川合新会長の元では、産研の研究面や資金面でも、同窓会が貢献できる局面もあるのではないかと期待しています。私自身は、街の成人向けカルチャースクールの講師などをして、楽しくアフターワークの人生を満喫させていただいております。同窓会員の一人として、今後も微力ながら産研に貢献させていただこうと考えております。産研のますますの発展を期待しています。

産研の活動報告

コロナ禍も3年目を迎え、少しずつ対面での活動を行うことができるようになりました。3月には中高生を対象としたMIRAI SCIENCE CAMP、4月には西尾総長はじめ理事の方々をお迎えした部局との懇談会、6月には新人オリエンテーション、8月には小学生を対象にしたものづくり教室も開催しました。来年度は同窓会の皆さまにもご参加いただける行事を企画するなど、活動の幅を拡大していきたいと思ひます。



「第78回学術講演会」&「第7回産研ホームカミングデイ」について

11月25日(金)、学術講演会及び産研ホームカミングデイを開催します。今年は3年ぶりに講堂において対面形式のリアル開催となります。

ホームカミングデイ特別講演会は第22代所長の二井將光先生が「産研・退職後の学び」と題して講演くださいます。また、学術講演会では、テーマを「量子コンピュータが拓く産業科学」とし、日本IBM東京基礎研究所 副所長の小野寺民也先生より「The Quantum Decade」と題してご講演いただくほか、下記内容のとおり教授陣による講演が予定されています。ポスターセッションも対面形式にて開催いたしますので、多くの皆さまにご参加いただきたいと考えております。同窓生の皆さまも、お誘い合わせのうえ、どうぞ産研にご来所ください。お待ちしております。

大阪大学産業科学研究所
第78回学術講演会・第7回産研ホームカミングデイ
「量子コンピュータが拓く産業科学」
開催日 2022年11月25日(金)
会場:産業科学研究所 管理棟1階 講堂

ホームカミングデイ特別講演会

13:00 挨拶(10分) 産研同窓会会長 川合 知二

13:10 特別講演(60分) 大阪大学名誉教授・産業科学研究所第22代所長 二井 將光
「産研・退職後の学び」

学術講演会

14:20 開会挨拶(10分) 産業科学研究所 所長 関野 徹

14:30 学外講演(60分) 日本IBM東京基礎研究所 副所長 小野寺 民也
「The Quantum Decade」

15:40 学術講演(30分) 第1研究部門 産業科学研究所 教授 大岩 顕
「半導体スピン量子ビットの現状と量子ネットワークへの展開」

16:10 学術講演(30分) 第2研究部門 産業科学研究所 教授 古澤 孝弘
「量子コンピュータとリソグラフィ」

16:50 学術講演(30分) 第3研究部門 産業科学研究所 教授 永井 健治
「トランススケールスコープが拓く生命科学研究の新たな潮流」

17:20 学術講演(30分) ナノテクノロジーセンター 産業科学研究所 教授 南谷 英美
「材料シミュレーションと量子コンピュータ」

17:50 閉会挨拶(10分) 産業科学研究所 副所長 永井 健治

ポスターセッション／13:00～ 掲示 18:00～ 討論 (会場:産業科学研究所 管理棟1階 渡り廊下)

https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/pb_office/gakujutu/

SANKEN CReA がオープンしました

管理棟2階産研図書室跡に【SANKEN CReA】がオープンしました。読み方は「サンケン クリエ」です。Creative RoomやCommunication and Refreshment Areaを意味し、所内アンケートにより名称を決定しました。広く明るい空間で、心地よく仕事に取り組むことができ、楽しんでディスカッションしたり、リラックスして学習することができるような、そんな居室を創りたいとWGを立ち上げ、様々な検討を重ね、下記のような部屋がオープンしました。将来的にはテラスにウッドデッキを設置し、オープンテラスでカフェを楽しむことも想定しています。同窓生の皆さまにも、様々な機会にご利用いただけたらと考えております。ご利用を希望される場合は、同窓会事務局までご連絡ください。



天窗を活用し観葉植物を配したラウンドチェア



移動家具を配しフレキシブルに利用可能



小上がりの畳スペース

新任教授の紹介

9月1日付で新任教授が着任しました。ナノ機能予測研究分野の南谷英美教授です。南谷教授は2010年の3月に大阪大学工学研究科で博士号を取得したのち、理化学研究所、東京大学、そして分子科学研究所を経て産研に着任しました。研究内容は、計算機によるシミュレーションを用いて複雑構造と物質機能の関係を明らかにすることです。磁性や熱物性など、産業的にも重要な物性を対象とした研究を産研で一層飛躍させ、基礎科学と産業間の架け橋となることが期待されます。



馴染み深い大阪に戻ってくることができて、とても嬉しいです。産研内の様々な分野の先生方とも交流し、面白く意義深い分野融合研究を新たに立ち上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

「大阪大学ホームカミングデイ2022@オンライン」

11月5日(土)～11月6日(日)、オンラインにより「大阪大学ホームカミングデイ2022@オンライン」が開催されることになりました。期間中に配信される様々なコンテンツにぜひアクセスください。詳細は特設サイトをご覧ください。

<https://ou2022hcd.alumni.osaka-u.ac.jp>

ご意見ご要望等ございましたらいつでもご連絡ください。



産研同窓会 (SANKEN Alumni Association)
〒567-0047 大阪府茨木市美穂が丘8-1 / TEL:06-6879-8380/FAX:06-6879-8509
E-mail:DOUSOUKAI@sanken.osaka-u.ac.jp / URL:<http://www.osaka-u.ac.jp/dousoukai/>

